

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成26年 2月27日

計画の名称	1 越谷駅東口における市街地のにぎわい再生			
計画の期間	平成22年度	～	平成24年度	(3年間)
計画の目標	交付対象	越谷市		

越谷駅東口地区は、駅前でありながら低容積や木造の建物が混在し、商業も衰退傾向にあり、その立地条件を十分に生かしきれていない状態である。そこで、市街地の合理的かつ健全な高度利用と口都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業の施行により、公共施設の整備及び施設建築物の整備を行い、駅前地区にふさわしい賑わいの創出、並びに市街地の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①市街地再開発事業による防災性能の強化（建物の不燃化率100%）
- ②市街地再開発事業による合理的かつ健全な高度利用（平均容積率466%）
- ③公共公益施設の設置により市民の利便性を高め、駅前に賑わいを創出する（利用者数目標達成率100%）

定量的指標の定義及び算定式

- ①建物の不燃化率  
建物の不燃化率＝耐火建築物の建築面積÷全建築物の建築面積
- ②高度利用率  
建物の平均容積率＝全建物の延べ面積÷敷地面積
- ③公共公益施設の利用者数目標達成率  
公共公益施設の利用者数目標達成率＝年間実利用者数÷年間目標利用者数（320,000人）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値	中間目標値	最終目標値	
(H22当初)	(H23末)	(H24末)	
19%	19%	100%	
103%	103%	466%	
0%	0%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,703 百万円	A	2,165 百万円	B	0 百万円	C	538 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.9%
-------	------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	---------	------------------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
越谷市公共事業再評価委員会	平成26年2月
	公表の方法
	ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	再開発	一般	越谷市	間接	越谷駅東口市街地再開発組合	越谷駅東口第一種市街地再開発事業	商業、住宅等 2.6ha	越谷市						2,165	
合計											2,165				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	越谷市	直接	越谷市	(仮称) 市民活動支援センター等整備	2,052㎡	越谷市						538	
合計											538				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	(仮称)市民活動支援センター、(仮称)中央図書室、(仮称)パスポートセンター、(仮称)観光・物産情報コーナー等の整備により、市民の利便性を高め、駅前地区の賑わいを創出する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発事業の施行により、全ての建物が耐火建築物となり、越谷駅東口地区の防災性能が強化された。</li> <li>・市街地再開発事業の施行により、快適かつ安全な歩行者空間の確保とともに、商業・業務・住宅・駐車場等の効率的な配置により都市機能の充実が図られた。</li> <li>・駅前という好立地の場所に公共公益施設を設置したことにより、市民の利便性を高め、利用者の増進につながった。</li> </ul>		
--------------------------------	---	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（建物の不燃化率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100%			
	指標②（高度利用率）	最終目標値	466%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	466%			
	指標③（公共公益施設の利用者数目標達成率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		各公共公益施設が利用促進に努めたため、予想を上回る利用者となった。
		最終実績値	109%			

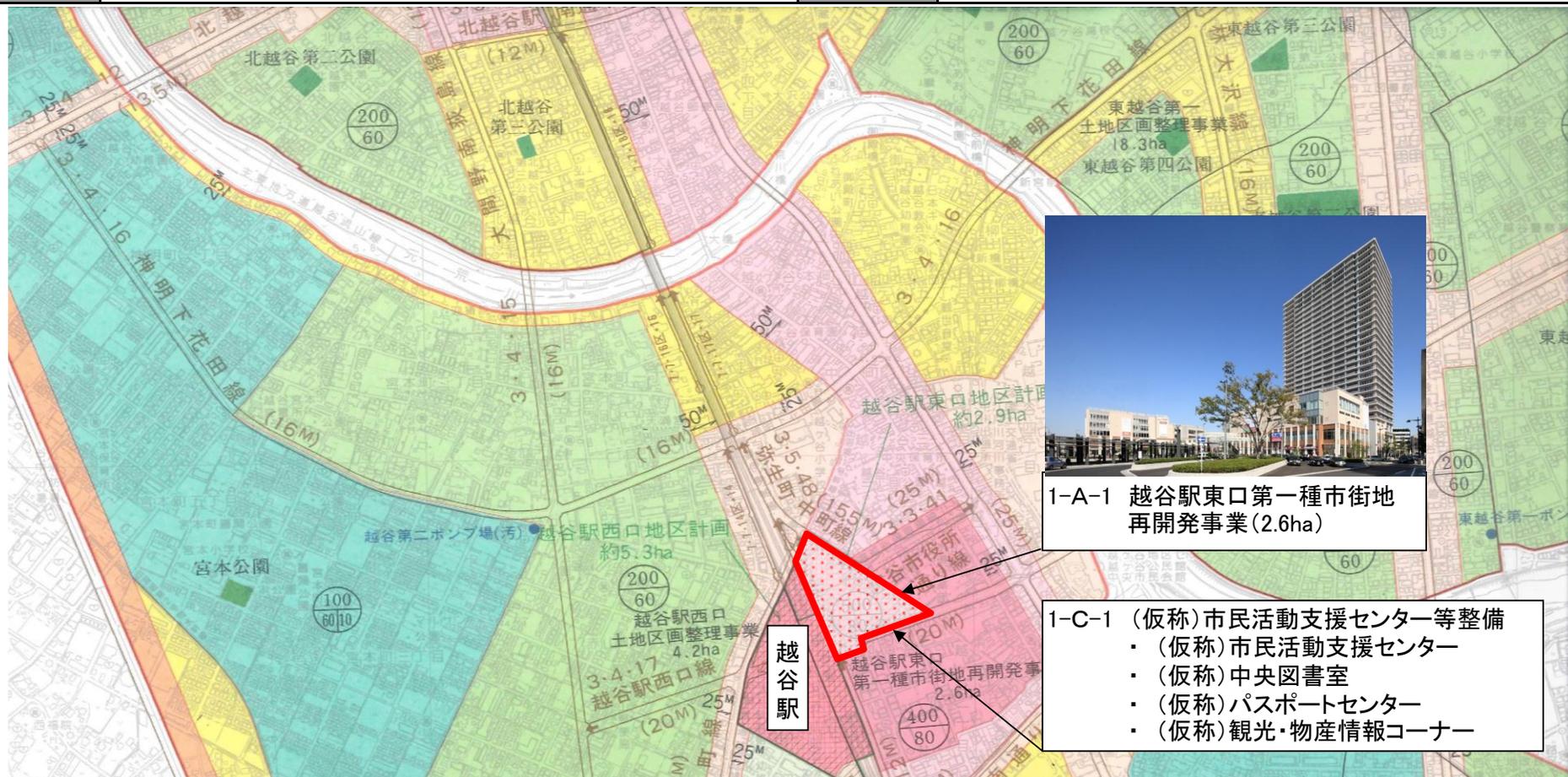
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<p>越谷駅東口第一種市街地再開発事業による複合施設（商業、業務、住宅、駐車場）の整備によって、市民の利便性が向上し、越谷駅東口地区に賑わいが戻り、中心市街地の活性化に寄与している。</p> <p>駅前広場・都市計画道路等、公共施設の整備により、道路交通網の充実が図られた。また、歩行者の安全性・快適性に配慮した上質な歩行者空間が確保された。</p>
--	---

## 3. 特記事項（今後の方針等）

<p>中心市街地活性化の更なる促進を図るため、商業施設や公共公益施設等、官民一体となったイベント開催などを積極的に行い、駅前地区の賑わいを創出する。</p>
--

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 越谷駅東口における市街地のにぎわい再生	交付対象	越谷市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)		



1-A-1 越谷駅東口第一種市街地再開発事業(2.6ha)

- 1-C-1 (仮称)市民活動支援センター等整備
- ・ (仮称)市民活動支援センター
  - ・ (仮称)中央図書室
  - ・ (仮称)パスポートセンター
  - ・ (仮称)観光・物産情報コーナー



市民活動支援センター



観光・物産情報コーナー



中央図書室



パスポートセンター